

名鉄バス 玉野台循環線、東野線のダイヤ改正について

1 概要

J R東海バスが平成 21 年 9 月末をもって撤退した路線を、市民の交通利便性確保のため、市の要請に基づき、平成 21 年 10 月から名鉄バスが運行。運行にあたっては、欠損が生じた場合、市が補助を行っている。

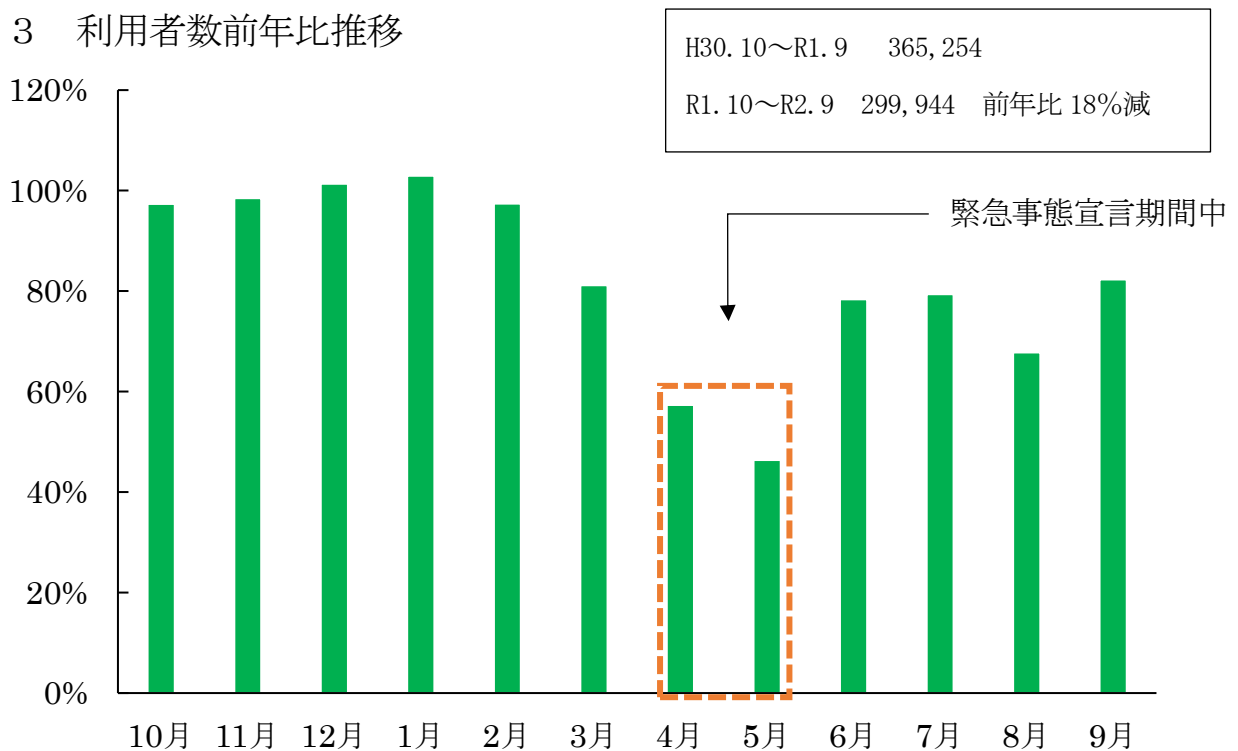
令和 2 年度の運行において、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したものの、利用者利便性維持のため、当該路線の便数を維持してきたが、補助額の大幅な増加や、新型コロナウイルス感染症の影響は令和 3 年度以降も終息の兆しが見えないことから、令和 3 年 4 月 1 日の名鉄バスダイヤ改正に併せ、運行レベルを現在の利用に見合う程度にまで減少させ、サービスレベルを維持しつつ、運行負担の解消を図った。

2 補助額推移

運行年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
補助額	2,517 千円	3,200 千円	6,972 千円	4,706 千円	33,850 千円

※平成 25 年度～平成 27 年度 補助なし（欠損なし）

3 利用者数前年比推移



玉野台循環線・東野線利用者前年比推移

※運行期間 R1.10~R2.9、H30.10~R1.9 の比較

4 ダイヤ改正内容

		令和2年4月	令和3年4月	減便率
便数 (平日)	玉野台循環線	33便	25便	24.2%
	東野線	62便	48便	22.5%
	(参考) 春日井市内線	93便	67便	28.0%
	(参考) 春日井桃花台線	93便	75便	19.4%

※春日井市内線：小牧駅～南町屋～春日井駅

5 今後について

玉野台循環線、東野線における毎月の利用者推移などを勘案しながら、補助、便数の妥当性を整理し、適宜必要に応じて路線、ダイヤを見直す。